



命と家族、絆の物語。



青森県
推奨
映画

うまれる
～不妊と流産を乗り越えて～
2010年 モントリオール
世界映画祭入選
第16回 サンアントニオ
映画祭入選

NHKや
朝日新聞等でも
話題!!
Yahoo! ムービーで
No.1獲得!!

魂が号泣する感動の104分

う
ま
れ
る

ナレーション つるの剛士

企画・監督・撮影：豪田トモ プロデューサー：牛山朋子 コーディネーター：大葉ナナコ 音楽：古田秘馬 プロダクションデザイン：溝田 明
コメントター：池川 明 鮎島浩二 岡井 崇 大葉ナナコ 見尾保奈 吉村 正 エンディングテーマ：「オメデトウ feat. KOHEI JAPAN」つるの剛士 (PONY CANYON INC.)
製作：インディゴ・フィルムズ/配給・宣伝：マジックアワー ©2010「うまれる」パートナーズ LLP
企業サポーター：Combi unicharm pigeon Aprica Wakodo JAL
www.umareru.jp



自分たちが産まれてきた意味や家族の絆、命の大切さ、人との繋がり、
そして“生きる”ことを考える、ドキュメンタリー映画です。

■上映スケジュール

5月25日(土) 弘前
岩木文化センターあそべーる
5月26日(日) 青森
アピオ青森 イベントホール

午前の部 開場 10:00 上映 10:30

午後の部 開場 13:30 上映 14:00

*午前の部はママさんタイムとなっております。お子様とご一緒にどうぞ。

前売予約 大人：1000円 小人：500円
当日券 大人：1200円 小人：500円

■チケット取扱店

弘前：集会所indriya

青森：Vege cafeちゃまま・Quadrille

■主催 SEEDS NETWORK (シーズネットワーク)

弘前市紙漉町4-6 集会所indriya 2F TEL & FAX 0172-34-6858 (事務局)
WEB <http://blog.goo.ne.jp/seedsnetwork> MAIL:seedsnetwork@mail.goo.ne.jp

子宮出身の
すべての人たちへ贈る
感動のドキュメント



この映画は、たんなる出産ドキュメンタリーなどではなく、
出産を切り口にした「親子の物語」なのだと思う。
親に、深く、深く、感謝した。

乙武洋匡

(作家)

私に関わってくれるすべての人に
「本当に本当にありがとう」と言いたくなりました。
また政治家という立場からも。
何ができるか考えさせられる映画でした。

小渕優子

(衆議院議員 元少子化対策・男女共同参画担当大臣)

生きていろいろ腹立つことあるけど、結局、うまれたから
愛する人と出会えたんだ。悲しくない涙がたくさん出ました。

鈴木おさむ

(TBSドラマ『生まれる。』脚本家)

私は子供を産まずに45歳になりました。
でも、それは欠陥ではない、と言ってもらえた気がしました。
そう思ったら涙が止まりませんでした。

さかもと未明

(漫画家・タレント)



“僕はただ、両親と仲直りがしたくて、
この映画を作ったのかかもしれません”

自分は愛されているんだろうか… 自分は本当にこの両親の子ども
なんだろうか… 物心ついた時から、僕はそう思っていました。

4歳年下の弟が右目が半分開かない状態で生まれてきたことから、
両親は弟の事で精一杯。僕は「親の愛情」というものを、知らず
に育った気がしていました。

自分はなぜうまれてきたのか、何のために生きているのか… 自分
の存在価値がよくわからなくなり、結婚や子どもを持つことに、全く
夢を描けませんでした。

そんなある日、講演会で「赤ちゃんは雲の上で親を選んで生まれて
くる」という胎内記憶の話を聞きました。

自分は好きでうまれてきたんじゃないし、子どもは親を選べないと
ずっとと思っていた僕は、非科学的ファンタジーな話とは思いつつ、
心から感動したのです。

自分が選んだのかも、と考えると、いまの親子関係は自分にも責任
があるのでは、自分も本当は愛されていたのでは… 長らく抱いて
いた否定的な感情が少しずつ消えていくのを感じました。

「うまれる」ことを映画にしたい！命の原点に向き合うことで、僕自
身、両親との関係を築き直せるかもしれない……。

それから3年あまり、何十組のご家族、ご夫婦を取材・撮影さ
せていただきましたが、「うまれる」ことを知れば知るほど、その
奥深さと神秘に僕は圧倒されました。

産まること、そして生きることは、まさに奇跡の連続。頭では
分かっている命の尊さ、感じる機会ってどのくらいあるのでしょうか？
全身の細胞全部で、映画のメッセージを受け止めいただけたらう
れしいです。

企画・監督・撮影 豪田トモ

あなたの町で映画「うまれる」を上映しませんか？

自主上映会サービスの詳細 & お申込は公式HPより



うまれる

ナレーション つるの剛士 企画・監督・撮影：豪田トモ
製作：インディゴ・フィルムズ / 配給・宣伝：マジックアワー

©2010「うまれる」パートナーズLLP
2010日本/カラー/H-35mm/104分/ピクササイズ/DTS STEREO

www.umareru.jp



命のドラマが書籍になりました。

「うまれる」かけがえのない、あなたへ」

豪田トモ著 PHP研究所 1,470円(税込)

こんにちは、SEEDS NETWORKです。

「共生・協働」をテーマに「生きることについて真面目に楽しく考えています。「絆」「輪」と
「無縁」「孤独」が並列する現代社会。目の前にいる誰かを思いやる力があれば、もっと笑顔が
増えるんじゃないかな。そして、生活満足度が「わんつか」でも高まれば、地域も活性化するんじ
ゃないかという思いから生まれました。

今はまだ「わんつか」しかない種ですが、一緒に楽しめることを色々考えてみました。
第一弾は映画です。

『うまれる』は、全ての人に生まれてきてくれてありがとうという映画です。

みんな、誰かの大事な人。

あなたも、わたしも生まれてありがとう。